

春漁情報第 1 報

平成 29 年 1 月 27 日

宮城県水産技術総合センター企画情報部

TEL:0225-24-0159

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>

コウナゴ漁期前調査情報

平成 29 年 1 月 25-26 日にボンゴネットの中層曳きにより実施したコウナゴ分布状況についてお知らせします。今年の 1 月下旬のコウナゴ分布状況は、0.53 尾/m³となり、昨年並みでした。過去 10 年 (2007-2016) の平均値 (4.0 尾/m³) と比較すると低くなっています。仙台湾の沖合にはほとんど分布せず、岸よりの仙台港沖～閑上沖に比較的濃い分布密度がみられました (図 1)。過去のコウナゴ分布密度と火光利用敷網 (ランプ網) の関係から、今シーズンの漁獲量を予測したところ、約 1,300 トンとなり、昨年並となる予測です (図 2, 図 3)。コウナゴの体長は 4mm 台が最も多くなっていましたが、10mm を超えるものをあり、平均体長は 4.9mm と過去 2 カ年よりも大きくなっています (図 4)。

次回のコウナゴ漁期前調査は漁期直前の 3 月 14～15 日にかけて実施予定です。

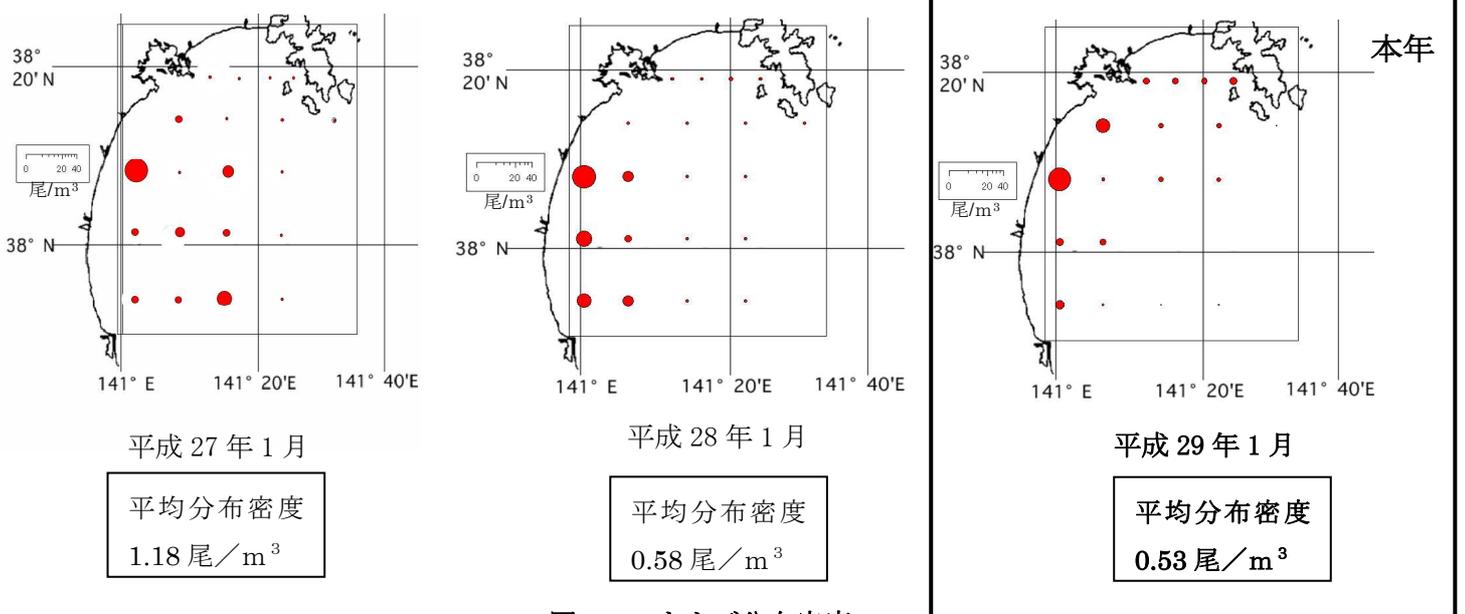


図 1 コウナゴ分布密度

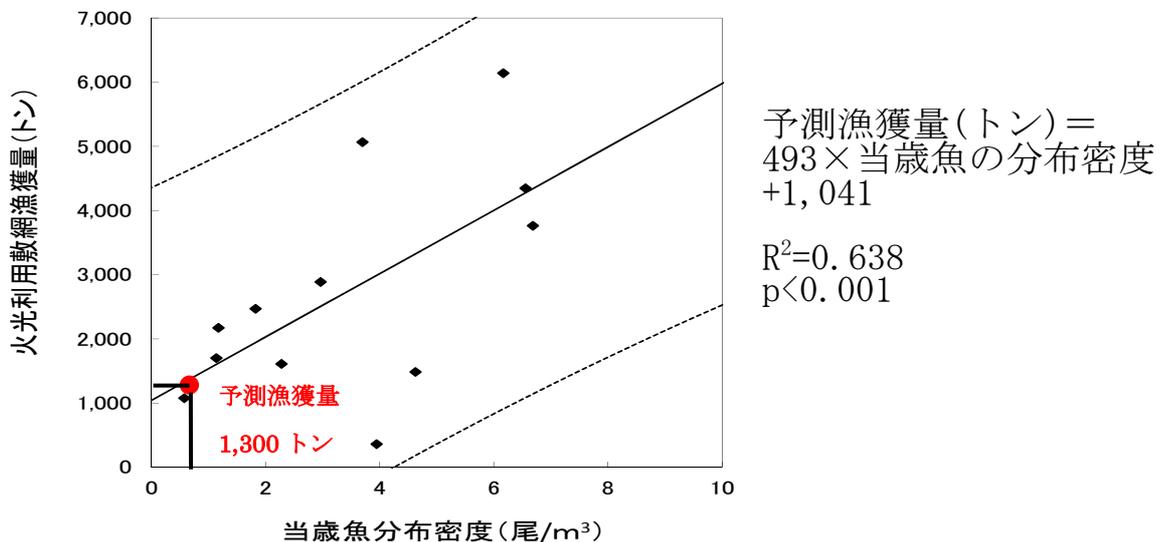


図 2 当歳魚分布密度と火光利用敷網漁獲量の関係

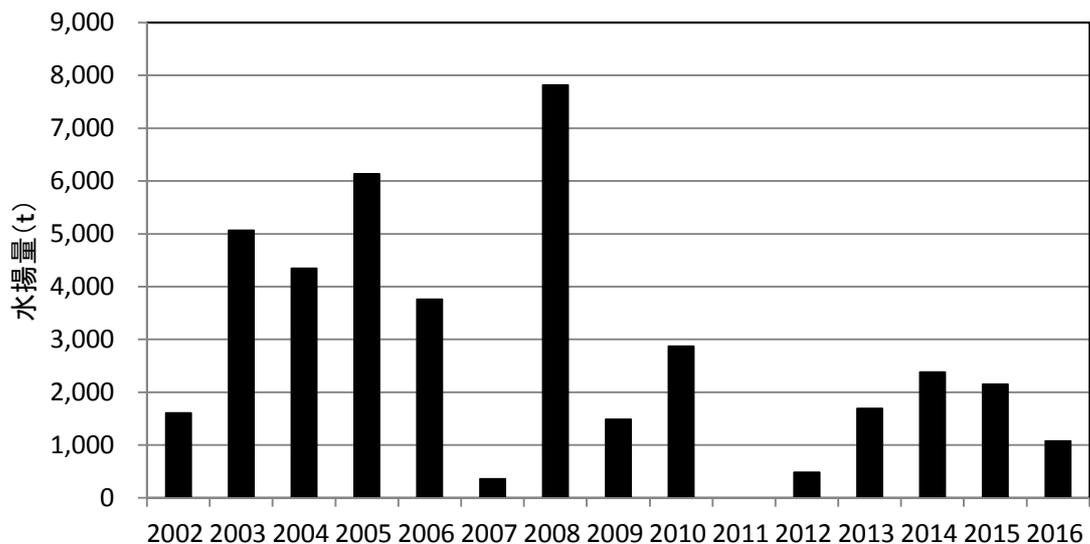
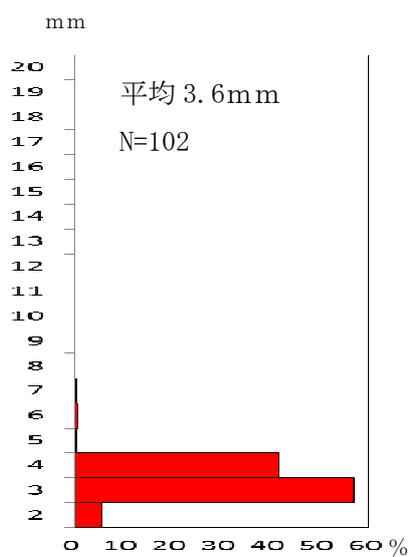
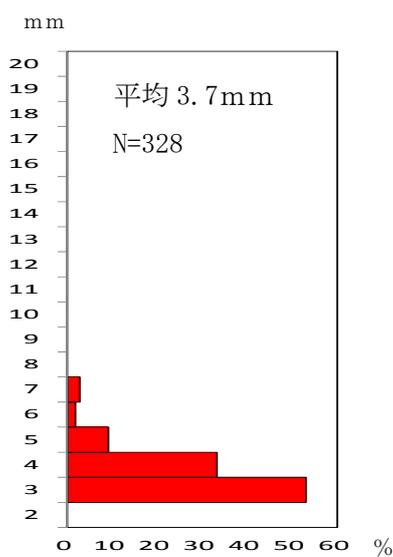


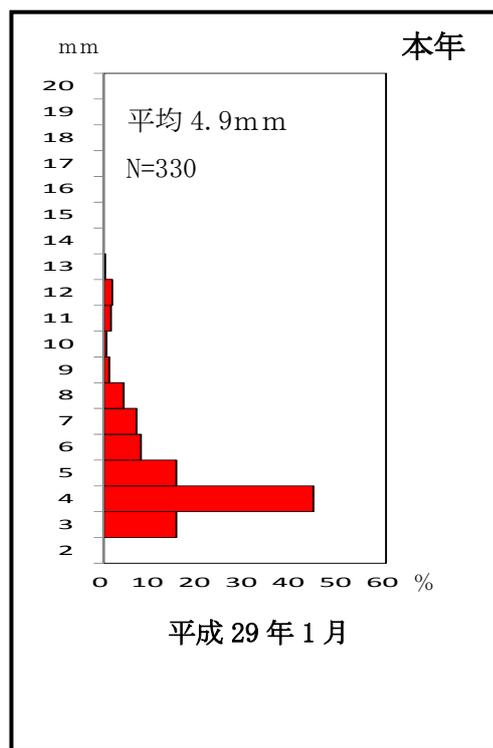
図3 火光利用敷網（ランプ網）のコウナゴ漁獲量の推移
(2011年は東日本大震災の影響により水揚げ無し)



平成 27 年 1 月



平成 28 年 1 月



平成 29 年 1 月

図4 コウナゴ体長組成